

総務教育常任委員会資料

(平成26年12月17日)

〔 件 名 〕

- ・鳥取県版・市町村コンシェルジュ及び市町村応援コーディネーターの
設置について 【人事企画課、業務効率推進課】・・・1
- ・「とっとりDAYS!! in あべのハルカス近鉄本店」の開催に
ついて 【関西本部】・・・2
- ・名古屋における情報発信等について 【名古屋代表部】・・・4

総 務 部

鳥取県版・市町村コンシェルジュ及び市町村応援コーディネーターの設置について

平成26年12月17日
行財政改革局人事企画課、業務効率推進課
地域振興課

1 鳥取県版・市町村コンシェルジュ

(設置目的)

県内市町村の総合戦略の策定、移住定住など創意工夫をこらした地方創生の取組等を応援するための県の窓口体制として「鳥取県版・市町村コンシェルジュ」を設置し、市町村の主体的な取組を支援・推進する体制を構築する。

(想定される業務内容)

相談窓口及び関係所属とのパイプ役

・市町村が、新たに独創的な取組を構想しようとする際などに県の所管部局や支援策が不明な場合、相談・問い合わせの窓口となるとともに、その後の進捗状況を把握する。

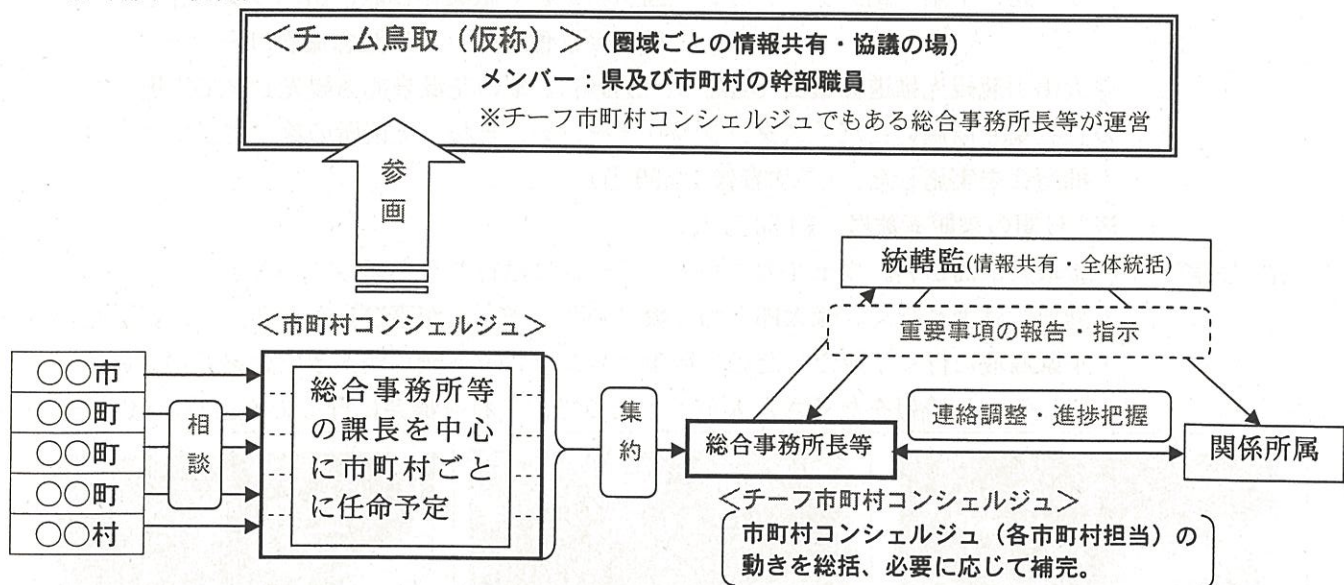
例) 取り組みたい事業があるが、所管部局や支援策の有無などが不明な場合。

案件が複数部局にまたがり、どちらの部局が主となって相談、支援するかはっきりしない場合。

・市町村の総合戦略の策定、移住定住をはじめとした主体的な取組の立案の際における情報の提供や知恵出しなどの支援、関係部局との連絡調整などを行う。

圏域ごとの県・市町村の情報共有・協議の場（「チーム鳥取」（仮称））に参画

(体制及び役割)



2 市町村応援コーディネーター

(設置目的)

市町村への職員派遣等、人的支援・連携等に関する県の窓口として「市町村応援コーディネーター」を設置し、市町村の主体的な取組を推進・支援する体制を構築する。

(体制及び役割)

総務部長を「市町村応援コーディネーター」として任命し、市町村からの相談・要望に通年（常時）対応する。

3 今後の予定

・現在、各市町村に対して、事前に説明・調整中であり、年内若しくは年明けのできる限り早い時期に上記体制をスタートさせることとしたい。

「とっとりDAYS!! in あべのハルカス近鉄本店」の開催について

平成26年12月17日
関西本部

12月6日・7日の両日、「とっとりDAYS!! in あべのハルカス近鉄本店」と題して、鳥取県の観光PR及び情報発信を行いました。

開湯850年を迎えた「三朝温泉」の足湯が日本一の超高層複合ビル「あべのハルカス」ウイング館屋上に初登場するなどの話題もあり、ステージイベントや体験コーナーをはじめ「日野川源流米コンテスト」も来場者にたいへん好評でした。

記

- 1 日 時 12月6日(土)・7日(日) 午前10時から午後6時まで(7日は午後5時まで)
- 2 場 所 あべのハルカス近鉄本店 (大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43)
ウイング館屋上、ウイング館8階街ステーション、タワー館7階街ステーション
- 3 主な内容
ウイング館屋上 三朝温泉足湯コーナー
ウイング館8階 街ステーション ステージイベント、とっとりPRコーナー
日野川源流米コンテスト(7日のみ、詳細は次ページのとおり)
タワー館 7階 街ステーション 因州和紙折り紙製作体験、缶バッジ製作体験
鳥取の景色に映りこみ記念撮影コーナー
※大山山麓観光推進協議会(境港市、伯耆町)、梨の花温泉郷も観光PRで出展した。
※各会場を周遊いただくスタンプラリーを行い、まわった箇所の数に応じてガラガラ抽選会を実施した。(参加者数1,500名)
※2日間の来館者数は、約30万人。
- 4 主な声
 - ・蟹取県は面白い。ウェルカニキャンペーンには行こうと思っていたところ。
 - ・鳥取にはよく行く。鬼太郎とねこ娘に会えて子どもが喜び良かった。また行きたい。
 - ・来週鳥取に行く予定だったので情報(パンフレット類)が入手できありがたい。
 - ・楽しそうな情報をたくさん入手できたので、これを機会に行ってみようと思った。



日野川源流米コンテストについて（詳細）

(1) 日 時 12月7日(日) 12:00~17:00

(2) 場 所 あべのハルカス近鉄本店ウイング館8F街ステーション

(3) 実施主体 鳥取県日野郡産米改良協会

【 構成員：日南町、日野町、江府町、伯耆町、県西部総合事務所日野振興センター、県農業共済組合、全農鳥取県本部米子事務所、JA鳥取西部】

(4) 実施内容

ア 鳥取県日野川源流米コンテスト（初めて関西圏で最終審査）

○地元で348点の食味値審査から選出された上位4点の最終審査を行った。

○先着200名の来店者が試食後、投票して順位を決定した。

○投票者全員に新米300gと投票者を対象としたガラポン抽選で新米5kgをプレゼントした。

イ 関西初登場の鳥取西部農協キャラクター「まいがなくん」と一緒に日野郡産米、農産物直売所「ふれあい村アスパル」、旬の白ねぎ・ブロッコリーのPRを行った。

(5) 実施結果

ア 鳥取県日野川源流米コンテストの審査結果

○有効投票数195票のうち56票を獲得した日南町米生産者の佐伯氏が最優秀賞（鳥取県知事賞）を受賞した。

イ 審査者の主な声

○やわらかくて、甘くて、美味しい。

○冷めても美味しい。

○普段食べているお米より、美味しい。もちもち感が違う。

○4点とも美味しいので、違いが分からず、1番を選ぶのに悩んだ。

ウ JA鳥取西部担当者の感想

○多くのお客様から美味しいと好評であったことを受け、今後も米の栽培技術向上や日野郡産米のPRに努めていきたい。

【参考】あべのハルカス近鉄本店（B2F）で販売しているJA鳥取西部産のお米

- ・特別栽培米「大山の郷こしひかり」
- ・特別栽培米「こしひかり」
- ・特別栽培米「氷温熟成奥日野こしひかり」



とっとりふるさと大使の桂まん我さんとともに
JAとっとり西部職員と「まいがなくん」もPR

名古屋における情報発信等について

平成26年12月17日
名古屋代表部

1 「冬のふるさとフェア」での食のみやこ鳥取県PR

中日ビル入居各県で構成する「全国物産観光センター連絡協議会」が主催するフェアにおいて、県産品のPR等を実施しました。

- (1) 会期等 12月1日(月)～12月5日(金) 中日ビル4階会場
- (2) 参加県等 鳥取県他(物産販売17県、観光資料展示3団体)：来場者 約3万人
- (3) 鳥取県ブースの出展内容

定番商品	とうふちくわ、氷温熟成お米、砂丘らっきょう、あご入りだし、大山ハム等
秋(正月)の味覚等	あんぼ柿、氷温熟成まる餅、ゆずとうふちくわ
新規(話題)商品	ピンク華麗(カレー)、かりんとう、ねばりっこ

(4) 概要

- ・鳥取県の話題商品をマスコミにPRしたところ、鳥取県ブースからのテレビ中継が2社実現し、今話題の「ピンク華麗(カレー)」、東日本大震災で被災された宮城県女川町の事業者が鳥取県伯耆町にて生産を再開された「かりんとう」などが紹介され広く県産品をPRできました。
- ・ふるさとフェア初出品の「ねばりっこ」なども完売するなど大好評でした。



鳥取県ブースからテレビ生中継



鳥取県ブースの様子

2 「とっとりビジネスフォーラム in 名古屋」のフォロー活動等について

11月14日に名古屋市内で開催したフォーラムのアンケート結果及びフォロー活動の状況は以下のとおりであり、昨年以上に参加企業の鳥取県に対する関心が高まりました。

(1) 参加者アンケートの集計結果概要(中京圏の参加者対象)

		平成26年フォーラム	(参考)平成25年セミナー
回答数		76人	67人
鳥取県に対し興味を持った項目(複数回答)	①名古屋から近くなったこと	69	52
	②鳥取県の産業振興の取組	61	54
	③災害リスクの低さ	67	53
	④企業誘致の支援制度	65	49
	⑤鳥取県の自然・温泉	68	61

(2) アンケート意見

- ・鳥取県が企業誘致にこれほど熱心だとは知らなかった。
- ・知事の話は面白く、テレビの露出も多くて最高のセールスマンだと思った。地方創生の時代に小さな鳥取県が元気になれば、日本全体が活気づくと思う。

(3) セミナー参加企業等へのフォロー活動について

一層の理解促進と最新の企業情報の把握のため、セミナー参加企業等への訪問活動等を行っています。

参加企業の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーで知事から直接話を聞いて鳥取県がたいへん身近になった。 ・プレゼンテーションや説明を聞いて、今後鳥取県への進出が増えそうに感じた。 ・昨年も参加したが、今回は参加者との名刺交換もたくさんでき、より盛況であった。等
---------	---